

背景

- 長期（気温）目標等に関するレビュー。今次会合では、第2回レビューのスコープをどうするか、検討。

COP25での交渉

- 第2回レビューのスコープをどうするかが焦点。以下2つとすることで合意。
 1. 長期（気温）目標等に関する締約国の理解を深める、及び
 2. 長期目標に向けた締約国が講じた措置の総合的な効果(effect)を評価(assess)する。
- また、パリ協定に位置づけられるグローバル・ストックテイク（2023年予定）との重複等の懸念があるため、COP30（2024年）に定期レビュー継続の可否について再検討が決定。

COP26に向けて

- 第2回定期レビューは第52回補助機関会合（SB52。2020年6月予定）後から準備段階が開始する。
- COP26/SB53においては、第1回専門家対話が予定（以降2年間3回にわたり実施予定）。
- 先進国・途上国の二分論等を求める内容とならないよう扱われる情報のバランスに要注意。